

創造的復興サミット

新潟県からの 取組発表



新潟県

○新潟県中越地震



走行中の上越新幹線の車両が脱線



長岡市の県道では大規模な土砂崩れが発生



大量の土砂が川をせき止め天然のダムが発生

○「創造的復旧」



コミュニティ単位で従前の集落の近くに集団移転



美しい景観を取り戻した長岡市山古志の「棚田」



「牛の角突き」

○災害の経験・教訓の伝承

新潟地震（昭和39年6月）



液状化現象や津波、製油所の火災が発生（新潟市ほか）

新潟焼山火山災害（昭和49年7月）



水蒸気噴火により噴石・火山灰の噴出、土石流が発生（糸魚川市ほか）

令和4年8月3日からの大雨



土石流・流木によって押し流された住宅等
（村上市、関川村ほか）

令和6年能登半島地震



新潟市における液状化被害

○災害の経験・教訓の伝承

新潟県防災教育プログラム



震災メモリアル施設



「えちごせきかわ 大したもん蛇まつり」(関川村)



○課題への対応






60
年
あれから

50
年

20
年

20
年

防災・減災 にいがたプロジェクト 2024

2024年は、新潟地震から60年、新潟県山火災災害から50年、新潟・福島豪雨（7・13水害）及び中越地震から20年という、多くの災害からの節目の年となります。その後も中越沖地震や、平成23年、令和4年の豪雨、令和6年能登半島地震など、度重なる自然災害に見舞われています。

どのような災害が起こったのか、どういった被害があったのか、そして私たちの生活にどのような影響があったのか、そのときどう行動が命を救ったのか。このプロジェクトは、災害からの教訓をしっかりと次世代に継承していくことを目的としています。その繋いだ教訓や記憶を自分事化し、「モシモ」の災害への備えや命を守る行動に繋げていくよう推進していきます。

つないだ記憶がモシモを救う

過去から現在、現在から未来へ。
経験や教訓、備えをしっかりと伝えることが、「モシモ」の災害から、いのちを、家族を、まちを救うことにつながることを表現しています。



災害の「災」の漢字をモチーフに、ヘルメット、防災グッズを身につけた備えが万金のキャラクター「ジブンゴト」と一緒に、防災・減災について考えていきましょう。




防災・減災 新潟プロジェクト2024 実行委員会
 [県市町村] 新潟県/新潟市/三島市/柏崎市/新潟市/小千谷市/加茂市/十日町市/見沼市/村上市/高市/糸魚川市/妙高市/五箇市
 上越市/阿賀野市/佐渡市/魚沼市/東魚沼市/胎内市/佐和田市/阿賀町/佐和田町/佐和田町/佐和田町/佐和田町/佐和田町/佐和田町
 [国土交通省] 国土院北陸地方測量部/北陸地方整備局/気象庁新潟地方気象台 [報道機関] 新潟日報社
 (事務局) 国土交通省 北陸地方整備局 企画部企画課 tel 025-280-6880




ぼうさいこくたい 2025 in 新潟

語り合い 支え合い ～新潟からオールジャパンで進める防災・減災～













防災推進国民大会(通称 ぼうさいこくたい)は、内閣府等が主催し、産学官民の関係者が日頃に行っている防災活動を発表し、交流する日本最大級の防災イベントです。2016年から開催しており、2025年(第10回)は、新潟県新潟市で開催します。新潟県は、2004年中越地震等を経験しており、その経験や教訓を次世代に伝え、将来の災害に備えます。

詳しくはWEBサイトで!
 ぼうさいこくたい 検索




ぼうさいこくたい 2025 in 新潟

語り合い 支え合い ～新潟からオールジャパンで進める防災・減災～


